

日立グループ 議員団だより

日立グループ議員団活動方針（議員団の心得5原則）

1. 日立グループ議員団の一員であることの自覚を常に堅持すること。
2. 政治活動は、日立グループ連合、日立労組の運動方針を基本とすること。
3. 電機連合をはじめ、支援組織との連携に努力すること。
4. 住民との対話を深め、地域活動を活発に展開すること。
5. 常に研鑽に励み、清潔な姿勢を貫き、住民の信頼を高めるようにつとめること。

発行：日立製作所労働組合 政治部 〒136-0071 東京都江東区亀戸 9-3-13
編集：日立グループ議員団会議 2006年1月 No.41

ホームページアドレス:<http://www.hitachi-gr-giindan.jp/>

2006 謹賀新年

とり戻そう 日本の元気

『日本の国のかたち』を 議論しよう!

日立グループ連合・日立労組の皆さん、明けましておめでとうございます。昨年のご支援を頂きありがとうございました。特に、夏に行われました総選挙におきましては、小泉自民党旋風の吹き荒れるなかで、皆様方の懸命なご支援を頂き、6度目の当選を果たすことが出来ました。皆様のご支援に心より御礼申し上げます。

今回の総選挙では、小泉自民党のマスコミ総動員型総力戦の前に、民主党は大惨敗を喫す結果となりました。「政権交代」に期待し、民主党にご支援を頂きました皆様に深くお詫び申し上げます。

民主党は、今回の結果を真摯に受け止め、前原代表を先頭に「重要課題に対しては対案を提示」「常在戦場」「戦う民主党」を前面に掲げ、次の戦いに臨む体制を整えました。ご理解とご支援の程お願い申し上げます。

今年は、増税問題や憲法改正など、国民生活に深刻な影響を与える課題について国民的論議も起こるでしょう。これからの日本をどうするか。小泉政権は「改革」と称して、従来の構造を「破壊」するだけで、国の将来像をまったく国民に示しません。ただ単に「小さな政府」を目指していますが、「小さな政府」とは私たちの生活にどのような影響をもたらすのか、現実を冷静に直視して

日立グループ議員団会議 会長
衆議院議員 大島章宏

判断する必要があります。無原則な「小さな政府」のもたらす過度の自由競争社会は、社会的弱者やサラリーマン、市民生活に「自己責任」と「自己負担」を押し付け、さらに日常化する凶悪犯罪など社会不安を増大する一方です。

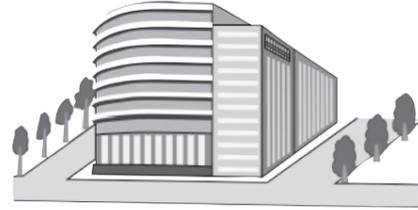
では、民主党として現在の日本をどうするか。責任政党として国民に明確に示す必要があります。まず、「民間に出来ることは民間で」という単純な発想からスタートするのではなく、国や自治体ができるべきことは何かを論じて整理した上で、「民間に出来ることは民間で」という発想が必要です。

民主党は結党以来、一貫して「道州制」を提言し、中央政府の権限縮小と、地方政府の権限拡大を主張してきました。市民の個人的リスクを連帯して助け合う効率的な地域社会の再構築が必要です。これこそ民主党が結党以来主張してきた「生活者・納税者・消費者」の立場に立つ「地域主権国家」、すなわち「第三の道」です。民主党は、今こそ、この将来構想を含む政治的理念を国民に明示し、国民の信頼を取り戻すべく全力で行動すべき時です。今年もどうぞよろしく願いいたします。



県政だより

茨城県議会議員
細田 武司
(水戸支部)



県政だより

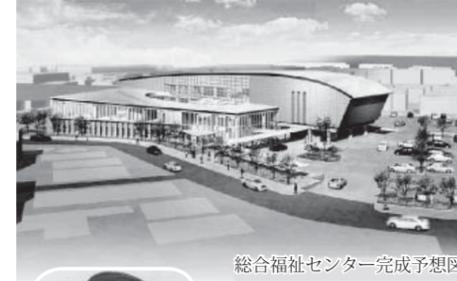


茨城県議会議員
今 一男
(国分支部)



市政だより

日立市議会議員
沼田 明博
(日立H&L 多賀支部)



総合福祉センター完成予想図

市政だより



高崎市議会議員
植原大二郎
(高崎支部)



市政だより

下松市議会議員
武居 宏明
(笠戸支部)

科学技術立県をめざして

サイエンスフロンティア21構想を推進中

茨城県は、筑波研究学園都市や東海・那珂地区などに高度な科学技術の研究・教育機関が集積しております。この恵まれた科学技術の集積を産業の振興や県民生活の向上に結びつけ、日本をリードする科学技術立県をめざすことが県政の課題であります。今後、本県の科学技術振興を図る独自の取組み方針を定め、科学技術振興に積極的に投資していく必要があることを代表質問などで質してきました。

知事からは「本県のめざすべき指標と施策の体系を明らかにした指針づくりを行い、科学技術関連の施策全般を強化していく」との考え方が示され、本年3月に「茨城県科学技術振興指針」が策定されました。

現在、日本原子力研究開発機構内に建設が進められている大強度陽子加速器に県中性子ビーム実験装置の整備を進めるなど、サイエンスフロンティア21構想（総合的原子科学の世界的な研究開発拠点の形成）を推進しています。また、それとともに、県内の大学、研究機関、企業などが連携し、独自の研究開発を行う「いばらき研究開発事業」など、研究開発の強化とその産業利用の促進を行っています。



様々な問題を崩す改革が不可欠

行政変化に対応した体質改革を

全国の道府県はどれも同じ問題を抱えています。茨城県も今、来年度の予算編成で約800億円の赤字が見込まれ、今年度中に新たな行財政改革大綱を審議、策定予定です。また、工業団地・住宅団地が売れない中、住宅供給公社・土地開発公社など県出資団体の改革を減損会計導入に合わせ、その存在価値、組織などの見直し中で早期の廃止、民営化を視野に入れ委員会で審議中です。

一般会計から合計50億円の繰り入れをしている3つの県立病院の経営形態についても4月からの地方公営企業法の全適用に向け準備作業中で、同委員会では民営化など抜本改革を審議中です。また、県有公共施設の指定管理者制度導入の32施設の公募で僅か5施設のみの管理者交代で、行政の変化に対応できない体質が感じられます。

いずれにしても、これらを崩す改革が不可欠です。その他、県南北格差問題、三位一体改革に関する教育費負担、生活保護費負担金問題、鳥インフルエンザ対策、アスベスト対策、百里基地の米軍再編問題等課題は山積していますが、一方で、つくばエクスプレス関連など明るい話題も一部には見えています。

新市の一体化の取組みを推進

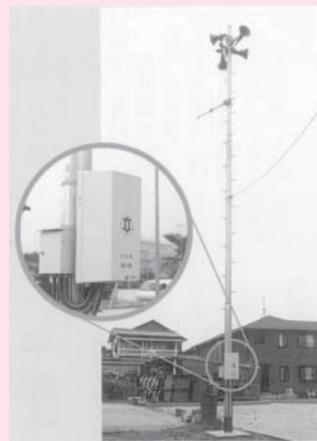
平成18年度からの「日立市基本計画」を作成中

日立市は十王町と合併し、1年が経過しました。

今、合併後の新しい街づくりや新市の一体化に向け全力で取り組んでいるところであります。特に十王地域については、行政格差の解消に向けた取組みとして、水道料金の引き下げ・道路整備・地域防災無線施設等の整備を進めてきたところであります。

また、昨年12月に十王地域の市外局番の統一が行なわれたことで一体化が進み、さらにケーブルテレビ放送の高速通信回線が日立市全域に今年3月を目途に整備され、情報インフラが急速に整備されるなど、一段と一体化が進むこととなります。

また、旧十王町地域の活性化施策として、合併前の十王町役場庁舎を、県立の「県北生涯学習センター」として整備し、今年8月にオープンする予定となっております。



十王地区にも設置された防災無線システム

さらに、合併協議の中で決められた「新市建設10ヵ年計画」を基に、平成18年度から始まる「日立市基本計画」の作成に取り組んでいるところであります。行財政改革をさらに進め新しい街づくりに全力で頑張ります。

都市と自然との共生をめざして

合併により新しい高崎市が誕生

高崎市は、平成18年1月23日に4町村が編入合併し人口31万5千人の新市となります。今回の合併は、合併特例法の優遇措置と期限後の優遇措置廃止のアメとムチにより加速された一面もありますが、本市では住民合意を基本に対等の立場で合併を進め、合併により人口30万人を超えて、大幅な権限移譲が期待される中核市を目指してきました。

今後は、住民自治に根ざした真の地方分権推進と効率的な行政運営を進め、持続的な市民福祉向上を図っていく新たな基盤づくりが求められています。また、山間部を含む旧市域の面積の約3倍となる307平方kmの地域になり、都市と自然との共生も大きなテーマになってきます。

今年8月に（仮称）総合福祉センターが開館します。この施設には、児童・シルバー・障害者支援、福祉の各機能がゾーン配置されます。福祉のパビリオンとして各機能が融合し、自由に活発な活動を誘発する「わかりやすく・使いやすく・楽しい」施設づくりと運営をめざしています。管理は民間委託の指定管理者制度の導入で新しい視点のサービスを図ります。どうぞご期待下さい。

下松市笠戸島に温泉施設「潮騒の湯」オープン！

リピーターをいかに増やすかが課題

下松市笠戸島の国民宿舎大城に昨年12月1日、温泉施設「潮騒の湯」がオープンしました。これは赤字が続く経営改善策として市が温泉を掘削し、瀬戸内海国立公園の景観を楽しめる露天風呂とサウナ付の屋内風呂、休憩室を設置し、新たな魅力で集客力を高め、島の活性化を目指すためのものです。

ナトリウム・カルシウムなどの成分を含む塩化物冷鉱泉で、湧出量は1日10t、料金は大人500円で、75才以上の市民は400円、営業時間は10時から20時までとなっています。

大城は市が土地・建物を所有し、1971年に開業、現在は財団法人下松市笠戸島開発センターが運営しています。施設の老朽化などで宿泊数が減少する中、2003年に温泉掘削し、昨年9月から増改築工事に着手、合わせて地階にあった調理場も1階に移設し、レストランへの動線を円滑にしました。

総事業費は4億2,800万円で、温泉の年間利用客を7万2,000人、経済効果を年1,500万円と試算しており、新年度に黒字転換をめざしていますが、リピーターをいかにして増やすかが今後の課題だと思えます。



「潮騒の湯」露天風呂

二〇〇六年議員団一同



本年は在任特例の任期が4月に終わり、4期目に挑戦します。厳しい行財政改革のなかで行政も議会もこれに対応しなければと考えます。初心を忘れず全力で頑張る決意です。

森田 稔 (甲府支部)
甲斐市議会議員
初心を忘れず
全力で4期目へ



新高崎市の発足に当り、早期に一体性を醸成し、地域交流を深め、行政の効率化や施設利用など合併成果を出し、新市の力を結集した活動を進めたい。

植原大二郎 (高崎支部)
高崎市議会議員
新市の力を
集結した活動



新年明けましておめでとうございます。本年が皆様にとって輝ける年であることを祈念いたします。本市も合併後最初の年を迎え議員として市民の皆様と合併して良かったと言われる様に頑張りたいです。

松本貢一郎 (白土支部)
熊谷市議会議員
新市の力を集結
より良い街づくりを



WHO健康都市連合に加盟、全ての事業に健康づくりをイメージし、元気の出る街づくりを推進いたします。

佐藤 信幸 (旭支部)
尾張旭市議会議員
健康都市、
より現実に



中部地協



尾張旭市
キャラクター
あさひーちゃん



●鉄道高架事業認可による駅周辺整備の大きな節目、
●ねんりんピック静岡テニス交流大会沼津開催、
チャンスを生かした街づくりに全力で取り組みます。

山崎 篤 (AEパワー・沼津)
沼津市議会議員
チャンスを生かした
街づくりに全力!!



地域スポーツを通して小中学生の健全育成を目指します。教育は「社会・学校・家庭」三位一体の取り組みが重要です。特に家庭・地域が大事です。体育協会の理事、ラグビー協会会長として頑張ります。

増山 利夫 (白音支部)
栃木市議会議員
スポーツを通じて
家庭を大切に



最も地域住民の方々に近いところでの政治活動ですので、コミュニケーションを大切にしながら、明るく元気に活動していきます。

千葉 正弘 (白音支部)
大平町議会議員
コミュニケーション
を大切に元気に活動



東海地協



人間錬磨に励みます

松本 敏 (ソフト支部)
横浜市議会議員

9月15日で選暦です。新たな出発点に向いつつ未来の行路が楽しいものとなるよう赤ん坊のつもりで人間錬磨に励みます。



政令市2年目を迎え、大都市議会の「あり方」と「らしさ」の追求にさらに邁進していきたいと考えます。本年もよろしくお願いいたします。

田中 敬五 (白土支部)
静岡市議会議員
大都市議会の
あり方を追求



少子超高齢の時代を生き抜くために、地域社会で「支え合う」気遣いをみなが持つてほしいものです。今年も地域住民のため、全力を尽くしてまいります。

山下 伝明 (タカノ支部)
大山崎町議会議員
「支え合う」気遣いを
持つてほしい



市政にこれまでのやり方、考え方を見直す勇気と行動を促し、情報公開のもとで、行政サービスの向上に努めるとともに、民間の創意工夫を引き出しながら小さな地方政府の構築を求めています。

帯包 文雄 (産機支部)
習志野市議会議員
民間の創意工夫で
地方政府の構築を



新生「胎内市」を活力ある街に

渡辺 宏行 (産機支部)
胎内市議会議員

健全で均衡ある行財政運営の確立に努力するとともに、新生！胎内市が元気で活力のある街になるよう頑張ります。



国と同様に地方も改革のスピードと結果が求められています。公平・公正で安心・安全な街づくりに向け、今年も全力で頑張ります。

山口 金光 (神奈川支部)
秦野市議会議員
安心・安全な
街づくりをめざす



今年4月に3期目に挑戦します。これまでの議員活動の成果が問われます。必勝に向けて初心にかえり、支援を訴えていきます。

内山 吉治 (笠戸支部)
下松市議会議員
3期目の
必勝に向けて



今年の4月が改選期となります。まずは3期目の当選を目指し頑張ります。当選の暁には公約、特に「行財政改革の断行」に取り組めます。

武居 宏明 (笠戸支部)
下松市議会議員
3期目当選めざし
行政改革断行!



住民視点の活動に努めます

関 好治 (日立DP)
茂原市議会議員

住民生活に一番密着した地方自治体の議員としてのその立場・役割を再認識し、「住民視点の活動スタンス」を崩すことなく精一杯努めます。



市民意見を反映したまちづくりを進める

山本義雄 (AEパワー・千葉)
市原市議会議員

「選択と集中」をキーワードにした市原市政に、新たな都市交流拠点形成整備のために一層の市民意見を反映したまちづくりを進めます。



市民の代弁者として取り組みます

中村 健二 (日立金属・安来)
安来市議会議員

明けましておめでとうございます。2期目の議会活動となりました。苦しい財政の中、集中と選択をし市民の代弁者として取り組みます。



年男の新人議員が「新」安来市を推進!

田淵 秀喜 (日立金属・安来)
安来市議会議員

新年明けましておめでとうございます。年男の新人議員として本格的な活動を精力的に推進すべく、決意新たに新年を迎えました。
新安来市の発展的将来に向けた具体的取組みを市民参加型で推進いたします。



十何らなる活動を年頭に誓う



茨城地協

私たち、日立グループ議員団は、今年度もさらなる飛躍をめざします。引き続きのご支援・ご協力をよろしく願います。

二〇〇六年新春



地域のことは地域で「地域主権国家」を
衆議院議員
 大島 章宏 (日立支部)

予算と権限を自治体に委譲し、地域の事は地域で決められる、真の「国民のための改革」の実現し、「地域主権国家」を目指します。



産業活性化で茨城の発展を
茨城県議会議員
 長谷川修平 (日立支部)

節目の年を迎えるにあたり、昨年の反省を活かすとともに産業の活性化を図り、県北をはじめとした本県の発展に引き続き努力します。



行政改革断行 県民生活を守る
茨城県議会議員
 今 一男 (国分支部)

謹賀新年。抜本的な行政改革が政治を変えます。今年も県民の生活を守るため懸命な努力をしていきます。宜しくお願いします。



住み続けたい安心な「いばらき」づくり
茨城県議会議員
 細田 武司 (水戸支部)

人口減少時代にあっても、地域の活力維持、発展を図り、安全・安心、住み続けたい安心な「いばらき」づくりをめざします。

「活力ある 創造・交流・環境 都市」の実現へ向け、新たなスタート

日立市議会議員 / 民主クラブ議員団

新年あけましておめでとうございます。

私たちは、日立市議会において日立グループ出身議員9名により、「民主クラブ」と、合併した旧十王町の議員を中心に結成した「申亥至誠クラブ」に所属し、活動しています。

本市は、一昨年に旧十王町との合併により新生「日立市」を誕生させ、昨年は新市建設計画や日立市基本計画に沿った事業推進を図ってまいりました。合併により、人口は20万人を超えたものの、直近ではこれを割り込むところにまで減少しており、本市にとっては、産業の育成やまちの活性化が大きな課題となっています。

本年は、今後5年間を目途にした日立市後期基本計画を決定し「活力ある 創造・交流・環境 都市」の実現に向けた、新たなスタートの年となります。様々な状況変化をこの計画に織り込みながら、新規の課題にも対応した事業運営が行なわれますので、議員一同ベクトルをあわせ、公平・公正な視点で、十分議論しあい、より良い方向をめざし、努力してまいりたいと考えています。

皆様より一層のご指導をよろしくお願い致します。

代表挨拶 村田 悦雄 (日立化成・山崎)

申亥至誠クラブ (旧十王町議会)



沼田 明博 (日立H&L・多賀)



渡辺 正幸 (日立支部)



石野 正美 (日立支部)



青木 俊一 (日立支部)



渡部 源昭 (大みか支部)



西川 光世 (日研分会)



村田 悦雄 (日立化成・山崎)



二瓶 隆 (日立電線・電線)



椎名 敦史 (H&E C)

「発展する可能性のあるまち」から「発展するまちの実現」に向けて!

ひたちなか市議会議員 / 日新クラブ議員団

新年あけましておめでとうございます。日頃からのご支援とご指導に厚く御礼申し上げます。ひたちなか市は、平成18年度から第2次総合計画により新たな10年を見据えたまちづくりがスタートします。この総合計画は、これまでの第1次総合計画が終了することに伴い、公募で選出された市民委員を含む審議会が中心となって策定したものです。目指すべき

都市像を「豊かな産業といきいきした暮らしが広がる世界とふれあう自立協働都市」と定め、産業の活性化・生活基盤の充実・交流と支え合いをまちづくりの基本的な考え方として、暮らしのたくまげを継続してまいりたいと考えています。日新クラブ議員団は、これまで「発展の可能性のあるまち」と言われてきた本市を、これからは総合計画

の着実な展開で「発展するまちの実現」にしていかなければならないと考えています。そのために、現在と将来の課題をしっかりと認識しながら、多くの課題に向かっています。本年も変わらぬご支援とご指導をお願いいたします。



佐々木忠男 (水戸支部)



高崎 修一 (日立支部)



山中 輝夫 (東海支部)



吉田 実 (L S I 支部)



牧野 米春 (日立工機)



西野宮照男 (佐和支部)



木村 時郎 (日立ハイテク)



病院問題の解決 に向け全力
北茨本市議会議員
 西野 英夫 (日立支部)

新年あけましておめでとうございます。1年生議員ですので、毎日経験するもの全てが勉強です。北茨城市にとってまずは、病院問題の解消の糸口を見出せるように精一杯頑張っていく所存です。今年もよろしくお願い致します。



将来を見据えた街づくりに邁進
東海村議会議員
 馬目 暢之 (日立支部)

大きな変革の波の中で、諸先輩が築いてきた「豊かな財政」「確かな政策」を堅持し「温故興新」、古きを知って新しきを興して、将来を見据えた東海村の街づくりに邁進いたします。



新東海病院のスムーズな開院を
東海村議会議員
 香澤 茂樹 (大みか支部)

新年をお祝い申し上げます。今年も、村民の要望が強かった新東海病院が開院いたします。新業務に支障ないように見て参ります。



市民が求める住みよい社会 みんなが協働みんなで作る
かすみがうら市議会議員
 和田 正美 (日立建機・土浦)

新市体制の機能を十分に発揮し、税金の無駄使いを無くした健全な行政の推進を図り、住みよい地域づくりに邁進します。



幹事長の 主張

安心な生活、自由な行動、活動への 参加ができる街づくりへ

バリアフリー、セーフティネットの充実

新年明けましておめでとうございます。皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げますと共に本年もどうぞ宜しくお願い致します。

私の目標はちょっと大きいのですが、安心して生活し、自らの意思で自由に行動し、あらゆる分野の活動に参加することが出来る街づくりを実現することです。

安心して生活ができるためには平和な世界であること、収入があること、家族共健康であること、犯罪や事故がないことなどが必要になります。

自らの意思で自由に行動できるためには確固たる己の信念を持つこと、民主的な国の法律、過度な個人負担をなくす、バリアフリー化の推進などが必要になります。

あらゆる分野の活動に参加するには職業の選択肢が多いこと、スポーツ・文化芸能の振興、地方分権と規制緩和、最低生活を保証するセーフティネットなどが必要になります。



横浜市議会議員
(ソフト支部)
松本 敏

世界各地に様々な人が生活している

世界を旅行すると地球は凸凹な物体だと思えます。部分だけを見ると平坦ですが、山あり、谷あり、海ありのギザギザな球体です。そして所々に人種の違う、考えていることも違う、通貨も価値も違う 70 億人位の人間が他を顧みる余裕もなく自らの生活に追われて暮らしています。

地方議員が強固な土台となろう

政治家の役割は長い目で見て重大だと思えます。私達地方議員は強固な土台や鉄筋とならなければなりません。まず、ご近所の方と笑顔で話せるように、そして選挙区の方や職場の仲間の困り事を解決できるようになりたいものです。そして視野を広げていくのが良いと思えます。

2006 主な選挙スケジュール

4月 下松市議会	10月 大山崎町議会
甲斐市議会	12月 茨城県議会

今年もよろしくお祈りします



衆議院議員 平野 博文
電機連合 顧問

議員生活10周年、今年も緊張感をもって国政に臨みます



参議院議員 若林 秀樹
電機連合 顧問

来年7月の参院選に向け今年も走り続けます



参議院議員 加藤 敏幸
電機連合 顧問

「ものづくり日本の復活！」へ今年も尽力します

安来市議会 選挙

藤原 常義氏から田淵 秀喜氏へ

任期満了に伴い、10月23日に投開票が行われた島根県安来市議会議員選挙にて、田淵 秀喜氏（新人）が藤原 常義氏からのバトンを受け見事初当選しました。

本選挙に寄せられた関係者の皆様のご支援に日立グループ議員団から厚く御礼を申し上げます。



<田淵氏の略歴>

1974 日立金属（株）安来工場入社
1995 日立金属労働組合安来支部執行委員
2001 日立金属労働組合安来支部副支部長
2004 日立金属労働組合安来支部会計監査

<主な政策> 民主的で住民本位の行政改革の推進 / 公平・公正な市民サービス / 福祉行政の推進 / 安心して暮らせる地域社会実現 / 生涯教育の充実

退任の挨拶

12年間ありがとうございました

藤原 常義（日立金属・安来）前・安来市議会議員

12年間にわたり皆様から多くのご指導を頂き、有意義な議員活動をさせていただきましたこと、心より感謝申し上げます。退任の挨拶とします。

